

高い技術をもって
社業の発展を図り、
健全な経営により
社会的責任を果たす

1. 着実な計画経営により
競争に打ち勝つ
2. 誠実な施工で永い信用を築く
3. 個人の能力を伸ばし
組織の力を生かす

1. まず、その道のエキスパートを目指せ
2. 仕事のポイント、タイミングを外すな
3. 仕事には日々改善の余地が生ずると思え
4. 常に自分の意見を持って、示せ
5. 議論を尽くせ、結論は責任を持って実行せよ

1981年8月制定



企業行動規範

第1	第2	第3	第4
公正かつ誠実な企業活動の実践	社会的責任の遂行	人間の尊重	社会との共生
<p>1. 法令等の遵守と公正かつ誠実な企業活動の実践 内部の都合や事情を優先することなく、法令ならびにその精神を遵守・徹底し、社会的良識のもと、公正かつ誠実な企業活動を実践します。</p> <p>2. 公正な競争ならびに適正な取引 公正かつ透明な自由競争ならびに適正な取引を推進します。</p> <p>3. 反社会勢力との関係の遮断 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を遮断します。</p> <p>4. 知的財産権等の保護 他者の知的財産権を尊重するとともに、個人情報など、事業活動を行ううえで取り扱う情報を適切に管理・保護します。</p> <p>5. 企業情報の適正な開示と経営の透明性の確保 企業情報を適正かつ適時に開示することにより、「開かれた企業」として経営の透明性の確保に努めます。</p> <p>6. 政治、行政との適正な関係の保持 政治、行政との関わりについては、関係法令を遵守し、透明で適正な関係を保持します。</p>	<p>1. 良質な建設物・サービスの提供 情報の確実な共有をはじめとする施工不良問題の再発防止策を徹底しつつ、誠実に施工を行うことにより、良質な建設物やサービスを提供し、顧客の信頼に応えます。</p> <p>2. 建設技術の向上 顧客からのさまざまなニーズに対応するため、技術開発ならびに技術の向上に努めます。 また、顧客に提供する技術については確実に審査等を行い、信頼に応えます。</p> <p>3. 公衆災害防止の徹底 公衆災害事故の教訓を決して忘れることなく、公衆災害の防止を徹底します。</p> <p>4. 自然災害への対応 自然災害の発生時に、被災地域の住民の救援と安全の確保、被災構造物の応急復旧等の災害対応活動に迅速かつ組織的に取り組みます。</p>	<p>1. 良好な労働環境と働く人の豊かさの実現 企業活動の担い手である「人」を尊重し、仕事にやりがいと誇りを持てる良好な労働環境の整備に努めるとともに、働く人の豊かさを実現します。</p> <p>2. 労働安全衛生対策の強化・充実 労働災害や労働疾病を防止し、建設業に携わる人々の安全と健康を確保するため、労働安全衛生対策の強化・充実を推進します。</p> <p>3. 差別や不当な取扱いの禁止 国籍、性別、信条などを理由として、雇用や処遇について、いかなる差別や不当な取扱いも行いません。</p> <p>4. 人材育成 教育訓練と自己啓発によって個人の能力を高めるだけでなく、上司と部下の対話を充実させる風土づくりを推進することにより、自ら気づき自ら考えて行動する社員を育成します。</p>	<p>1. 広範なコミュニケーションの実施 株主・顧客・取引先等をはじめとするステークホルダーとのコミュニケーションを充実させ、企業活動について相互理解を促進することで、信頼される「開かれた企業」をめざします。</p> <p>2. 社会貢献活動の推進 社会資本整備に携わる会社であることを常に意識し、「良き企業市民」として社会貢献に努めます。</p> <p>3. 環境保全等への取り組み 企業活動の全領域で環境との共生に努めるとともに、社会からの要請に応え、環境保全・再生・省エネルギーに積極的に取り組みます。</p> <p>4. 国際社会との調和と貢献 国際社会において、国際ルールや現地の法令等の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する事業活動を推進します。</p>

以上
平成18年6月制定
平成30年4月改訂

02	経営理念 企業行動規範
04	東亜のあゆみ
06	トップメッセージ
08	中期経営計画（2017～2019年度）の進捗状況
09	財務・非財務ハイライト
10	本部長が描く中長期ビジョン
12	信頼回復に向けた再発防止の取組み
	1 再発防止策の改訂
	2 開発技術審査フローの改定
13	3 再発防止策モニタリング委員会の活動実績
	風化防止・記憶継承室の設置
14	再発防止策実行計画の進捗状況
16	東亜建設工業グループのCSR経営
	社会の価値を創造し未来に選ばれる建設業をめざして
17	2018年度CSR行動実績と2019年度CSR行動計画
18	公正かつ透明な経営をめざして
20	お客様に信頼されるマネジメントシステム
22	東亜ファミリーの一員として
24	「安全第一」を使命として
	無事故無災害の現場をめざして
26	従業員とともに
	プロフェッショナル人材の育成と ワークライフバランスの確立に向けて
27	私たちの新しい働き方
28	多様な人材が誇りをもち、 いきいきと働くことのできる職場をめざして
30	建設業を通じた社会とのつながり
	2018年度の完成工事
32	社会とのつながり・地域貢献
33	未来を築く技術
34	環境性能および生産性を追求した設計施工技術
35	i-Constructionの浸透による生産性向上をめざす i-Con 推進部
36	自然との共存
	環境にやさしい建設業をめざして
37	環境負荷低減とSDGsへの取組み (2018年度CSR環境行動実績と2019年度CSR環境行動計画)
38	マテリアルフロー・環境保全活動実績

統合報告書の発行に当たって

- 発行目的：企業の社会的責任に関する活動と中長期的な経営方針を、ステークホルダーの皆様に対して開示することを目的として、作成しています。
- 編集方針：ISO26000（社会的責任に関するガイドライン）、環境省「環境報告ガイドライン」（2012年版）、国際統合報告フレームワーク（2014年日本語版）、SDGs（持続可能な開発目標、2015年国連採択）を参考に作成しています。内容的にすべてを網羅することはできておりませんが、現状で可能な範囲で記載しています。
- 対象範囲：東亜建設工業グループの事業活動を対象としています。環境に関する定量的データは、国内の事業活動のみを対象として集計しました。
- 対象年度：2018事業年度（2018年4月1日～2019年3月31日）および、必要に応じて当該年度以外の活動内容も一部掲載しています。
- 発行時期：2019年8月（次回2020年8月予定）